

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	南木曾町大学連携事業
事業主体 (連絡先)	南木曾町 (0264-57-2001)
事業区分	(1)地域協働の推進 (3) 教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	571,290円 (うち支援金: 457,000円)

事業内容

南木曾町と連携協定を結んだ大学2校に参加学生を募り、大学生目線での南木曾町の魅力を発見していただく。地域の住民との交流、意見交換を行い関係人口となった。

名古屋外国語大学と名城大学学生による

フィールドワーク、ワークショップを年間通じ数回開催し、観光面と移住という側面から南木曾町の魅力を引き出す内容について、地域の観光事業者、移住者、地域住民から聞き取りを行い、学生同士で意見を交わし、町の課題解決に向けての時間を共有した。



【フィールドワーク】

【目標・ねらい】

- ①南木曾町の観光・移住面での魅力の取りまとめ
- ②地域住民らと交流することで深まる関係人口づくり

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①南木曾町の観光・移住面での魅力のとりまとめ
パンフ、リーフレットを作成し、配布を行い周知した
- ②地域住民らと交流することで深まる関係人口づくり
関係人口の増加 R1: 4人 → R3: 15人
交流人口の増加 R1: 0人 → R3: 10人

※自己評価【B】

【理由】

移住体験については途中で内容変更となったが学生と町が協力して変更した目的にあわせて実施し、観光及び移住についても予定通り効果を感じられた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

引き続き連携大学との交流事業の促進、R4年度以降の事業までの取り組みをまとめ、参加学生への情報提供を行うことで事業に入り込みやすくなる。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある